

平成28年度第1回 デイサービスつどい場みち川西

運営推進会議開催報告書

開催日時 平成28年11月1日（火）

17時～18時45分

開催場所 デイサービスつどい場みち川西

出席者 (委員5名)

利用者代表

越智 和子 様

利用者家族代表

小手川 妙子 様

寺畑自治会 会長

前田 朝治 様

川西地域包括支援センター

西 尚美 様

代理出席 松本 兼二 様

株式会社なのはな 介護支援専門員 出口 雅代 様

(事務局2名)

特定非営利活動法人つどい場みち 理事長 浦田 美智子

デイサービスつどい場みち川西 管理者 浦田 克弘

会議概要

1. 理事長挨拶

地域密着型通所介護事業所の運営推進会議の趣旨について説明。

デイサービスつどい場みち川西、NPO法人つどい場みちの紹介。

介護保険制度の現状及び今後の見通しについて。

出席者の意見、要望、評価等、運営に関する協力依頼。

2. 委嘱状交付

3. 出席者自己紹介

4. 要綱 提示

要綱の読み上げ、詳細説明。

5. 活動状況報告

デイサービスつどい場みち川西重要事項説明書の事業の目的、運営の方針説明、事業経過を管理者が説明。

継いで理事長が短時間デイの特徴を補足説明

午前の部は認知症対応（現在は1名の利用）

午後の部で認知症の人も集団の中で過ごす必要性

午後の部での機能訓練・脳機能訓練・口腔体操の成果

6. 目で見える活動報告・・・スライド映写

機能訓練・レク・らくしゅう式プリント・遠足・外出・桜コンサート・誕生会（ケーキ作り、タコヤキ、ホットケーキ）・クリスマス会・笑顔集

7. 委員の意見、評価、要望

越智様：ここは「老人大学」。脳機能訓練が出来ても出来なくても明るく楽しく取り組める。本当に楽しい。脳梗塞を患った主人の脳の働きが改善された。使えば脳は活性化する。認知症が軽度の内にここで認知症の訓練をして欲しい。そして、こんなに素晴らしいデイがあるという事をもっと知って欲しい。

小手川様：当初は高齢者施設を利用するのは恥ずかしいと思っていたが、現在は施設を利用するのが当たり前の社会になった。先程デイで過ごしている母の表情を見せてもらい思った。私達家族の「これが出来なくなった、あれが解らなくなった、また変な事をしている。」というジレンマ・ふさぎ込みが母の表情に反映しているのかもしれない。家族の力には限界がある。今は母にとってデイの存在がとても有難い。母も私達家族も行政の方々を始めこんなにたくさんの人達に支えられて今の生活が成り立っていることを実感し、本当に感謝している。

前田様：寺畑地域は800世帯、自治会としては270世帯程。その自治会長を10年以上務めてきた。この地域も65才以上の人口が20～25%になり、高齢化している。自治会としてはいかに高齢者の方々を守っていくかを視点に活動しているが、自分たちも高齢化してきている中苦慮している所もある。近くにも50歳代で若年性認知症を発症された奥さんを抱える方がいるので地域包括等、相談先を紹介したが、今でも一人で介護をしているようで心配している。私は福祉関係の会議にも出席するので知っているが、行政のサービスがどんどん良くなっている事を、一般の方々はまだまだ知らない。行政は告知欄に載せれば全市民が知ったという事になるが、現実はそうではない。もっともときめ細かくデイ等、福祉サービスの内容を市民に知らず方法を取ってもらえたら、苦しみが楽になるのではないかと話を聞いていて思った。第三者の目から見てこうした方が良い等、アドバイスがもっとあれば、楽になる事例がたくさんあるのではないかと思う。これからは支えあって生活するという事が大事になってくると思う。

このようなデイを利用することは家族負担を軽減する方法の1つとなる

のではないか、これだけ積極的にきめ細かなサービスをされているデイがこの地域にあることをもっと周知すべき。自治会の会議の時に話してみる。

松本様： 地域包括支援センターというところは高齢者の介護・健康・生活の困りごと等の相談窓口の業務を行っている。行政の情報等をデイにお伝えしたりする事もある。若年性認知症の方を支える会が昨年川西市に出来たので利用して欲しい。これは家族さんが、1人でかかえこまなくて良い、同じような仲間がいて支えてくれる人もいるんだと、家族の気持ちを解りあえる家族の会です。包括としても、このような会があることをもっと周知していく。

又、スライドを見ると、皆様表情がすごく良い。大規模デイには無い、小規模ならではの職員と利用者・利用者同士の距離の近さを感じた。これからも雰囲気の良いデイを続けて下さい。

出口様： 私の担当する方がこのデイに来所されていて見学させて頂いたが、ここは本当にしっかり機能訓練されている。ただ、もう少し出来なくてもよいという雰囲気があっても良いと思っていた。その方は当初は出来なかった事があり、気にしていた。でも今は出来るようになられ、すごくデイが楽しいと仰っている。職員の方々が寄り添ってくれて乗り越える事ができたのかもしれない。利用者の皆さんの表情がとても良いのは、間違えてもいいのよと受け止めてくれる雰囲気がこのつどい場みちさんにはあるから、だから皆さんが自然に笑顔になっているんだと思った。

認知症になったらもうおしまいではなく、認知症になっても穏やかに過ごす方法がある。家族も抱え込まないで、もっとSOSを出し、地域の資源を利用して欲しい。いろんな立場の人と話せるこの会議はとても良い事。これを生かせるようにしていきたいと思う。

8. 終わりの挨拶（理事長）

頑張るところは頑張る。出来なくともしっかり職員を配置して個別に対応すれば少しずつ出来るようになる。頑張れば寝たきりの方が歩けるようにもなる。私達の願いは皆様に元気になってもらう事。最後まで自分でトイレに行って欲しい、最後まで自分の口で食べて頂きたい、身体も脳も元気に過ごす。こんなデイを今後も続けて行きたい。

今後の運営推進会議の予定としては、来年3月に第2回を開催し、その時の要望をNPO法人の総会（5月）に挙げ、6月頃に第3回を開催したいと考えている。

*前田様は平成29年2月で自治会長を退任されるため、以降は後任の会長に引継ぎされます。

以上